

八幡宮 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社の現在の宮地は、大古邑久郡の中部一帯が海であった時、小高い砂地であり海の中の浮地であった。その中に1本の松が挺然屹立し、その浜辺に打寄す白波は日の出を受け、月光麗朗影を描き黄金色をなし、瀬戸内を航海するものの霊場として、海上安全の神・尾張連の祖、高倉下命を祀った。

当時、瀬戸内海交通最大の障害は霧であった。その霧を払うために祀られていたと想像される。

現在の百枝八幡宮が尾張の総氏神として鎮座されたのは、宝亀2年(772)に高砂山系の早稲田の里、休所(現在の山手半田)に鎮座されていた正五位下稲戸明神から奉遷された。古文書によると、当時はその老木の枝が百枝もあることから「金海百枝松八幡宮」と称されていた。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 08027

神社名 八幡宮(ハチマンガウ)

通称名 百枝八幡宮

旧社格 村社

鎮座地 〒701-4221 瀬戸内市邑久町尾張398

電話番号

FAX番号

駐車場 有 100台

御祭神 仲哀天皇, 応神天皇, 神功皇后

御神徳

主な祭典 10月体育の日: 秋季例大祭
5月5日: 春まつり

宮司宅電話 0869-26-2133

URL

e-mail

特記事項

氏子地域 瀬戸内市(邑久町尾張)

交通アクセス

JR赤穂線邑久駅から南へ徒歩5分 邑久役場前バス停から南へ徒歩3分

神事一覧

獅子舞 祭礼日時: 10月第2日曜日朝9時

文化財指定: 無

[神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho